



明野ふくろう便



明野中央病院広報誌

vol.28



パラスポーツ外来に相談にみえた患者さんのご家族（イラストレーター）から ご寄贈 いただきました
HP: <https://tmillust.jimdofree.com/>

早いもので2022年も暮れようとしております。皆様本年も本当にお世話になりました。

本年は6月より脊椎外科の松本医師、麻酔科の牧野医師が加わり、更に円滑な整形外科治療ができるようになりました。加えてリハビリテーション分野においても療法士の増員を図り（12月現在PT28名、OT12名、ST2名）、人工関節や脊椎手術の術前よりの介入、術直後よりの離床、積極的リハビリにより在院日数の更なる短縮が図られました。手外科専門医の大久保医師の指導でハンドセラピー分野が充実し、専門的評価技術の向上、また、安価で簡便な装置がオーダーしてすぐに製作されるようになりました。夏には神戸大学医学部、酒井良忠教授のご指導を仰ぎ、炭酸ガス経皮吸収療法も取り入れました。更に大分国際車いすマラソンをはじめとするパラスポーツイベントに積極的に参加、また、外来ではパラスポーツ外来を常設運営することができました。

来年4月には、ペインクリニックの更なる充実を図るため、『痛みセンター（仮称）』を開設し、患者さんの速やかなる除痛、また脊椎疾患の診断精度向上を図って参ります。来年もよろしく願い申し上げます。
（理事長 中村英次郎）

世界初、車いすだけのマラソン大会



▲中村裕博士
(明野中央病院創設者)

世界初、車いすだけのマラソン大会「大分国際車いすマラソン」は、1981年の国際障害者年を記念して、社会福祉法人大陽の家創設者である中村裕博士（明野中央病院創設者）の提唱により始まりました。「車いすでマラソン?」「危ない」「前例がない」などの批判的な声に対し、博士は車いす選手の心電図データ測定など様々な医学研究を進め、マラソンが障害のある人の残存機能を強化する点で他の治療法にはない効果があることを科学的に立証しました。これらの研究と大分大会での実績により、車いすマラソン競技はパラリンピックの正式種目として認められることになりました。



▲今年の大会で優勝者に中村裕賞を授与する当院中村英次郎理事長

パラスポーツも応援します!

第41回大分国際車いすマラソン (11月20日・大分市)

大会には、当院より医師1名、看護師2名が救護班として、理学療法士、作業療法士ら6名が運営スタッフとして参加しました。レース前日には、選手のスポーツ障害予防のため肩関節や肘関節のエコー検査や体組成測定などの調査、研究を行いました。また当院は、昨年に引き続き、当体会の企画『ファーストチャレンジアシスト』に参加し、今回初めて当大会に挑戦する選手たち（最年少15歳から40代まで8名）に対し、レーサー（競技用車いす）の無料貸出、ヘルメット・グローブ・ユニフォーム等の支給、練習会の開催や大会参加料等の経済的援助などを行いました。



▲初参加の8名。初めてのチャレンジ、その勇気にアップレ!

修学旅行、楽しかったよ!



▲みんなと一緒にメリーゴーランドに乗りました

Nさんは小学6年生の女の子。5歳の時の交通事故で脊髄損傷となり、下半身麻痺の車いす利用者です。11月28〜29日、Nさんが通う小学校の修学旅行があり、当院リハビリテーション科の理学療法士2名が同行し、Nさんの移動の補助などの支援を行いました。1泊2日の長崎〜島原の修学旅行、Nさんはクラス友達と同じバスに乗り、同じホテルに泊まり、遊園地では一緒に遊具に乗って歓声を上げていました。下半身は麻痺していますが、普段鍛えた上半身で支柱を持ってメリーゴーランドに乗ることもできました。6年間仲良く過ごした友達との素敵な思い出ができたようです。また、Nさんはスポーツにも興味を持ち、12月24日福岡市で開催されるパラリンピックアスリートのタレント発掘イベントに参加します。

第42回 朝日九州車いすバスケットボール選手権大会

11月26～27日

別府市

当院の理学療法士・作業療法士6名が参加し、大会運営支援、体組成測定、スポーツ障害調査等を行いました。

2022 全国ダウン症アスリート陸上競技記録会

10月2日

宮崎市

当院の理学療法士3名が選手の体力測定等の調査研究のため参加しました。

第22回 全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」

10月29～31日

栃木県内各市

当院の理学療法士1名が大分県選手団のサポートスタッフとして参加しました。

ハンドセラピー

ハンドセラピーとは、手に損傷や障害を受けた人が、再び「Useful Hand（実際に生活する手）」を獲得するために行われる治療です。当院では、手外科専門医、作業療法士を中心に2020年10月より本格的にハンドセラピーに取り組んでいます。手根管症候群・肘部管症候群・橈骨遠位端骨折・伸筋腱断裂等の手の疾患に対し、専門的な評価を行い、装具療法等の治療を実施します。当院リハビリテーション科には3名の日本ハンドセラピー学会認定資格者が在籍し、手疾患の評価を行い、個々の患者さんに合わせた装具を院内で作成し、迅速でオーダーメイドの治療を実現しています。手術後の痛みや、筋力低下がある部位に対し、関節を動かしたり、筋力トレーニングなどの専門的治療を行い機能の改善を図ります。



▶手関節の治療のために当院ハンドセラピーチームが製作した装具。製作時間はおよそ30分です

炭酸ガス経皮吸収療法



▲治療する部位に専用のジェルを塗り、ビニール袋で包んで炭酸ガスを注入します

今年6月より新たな治療法として「炭酸ガス経皮吸収療法」を開始しました。この治療法は神戸大学医学部を中心に開発されてきたもので、炭酸ガスを治療部位に取り込むことで、血流の促進・筋肉の疲労回復・骨の成長促進・骨折の治癒促進などの効果が報告されています。炭酸ガスを効率よく吸収するための専用のジェルを治療部位に塗り、患部をビニール袋で包み込み、そこに炭酸ガスを送り込み20分程待つという治療法です。当院では、神戸大学医学部教授の酒井良忠先生のご指導を受け、指・肘・膝・足等の骨折や下肢のむくみがある方など100例以上の治療を実施し、良い効果を得ています。「長湯温泉に似てる！」との声もあり、新たな治療法の発展が期待されます。

ペインクリニック (痛みの治療)

首や肩のこり、五十肩、腰痛、坐骨神経痛、膝の痛み、頭痛、帯状疱疹後の神経痛、肋間神経痛など、体の「痛み」が続くと気分も暗くなります。当院のペインクリニックでは、様々な「痛み」に対して専門的な治療を行います。病気の痛みや治療に伴う痛みには、一般的に、原因を治療しながら通常の鎮痛薬を使います。しかし、これが不十分な場合は、当科で神経痛の治療薬や医療用麻薬、痛みを感じている神経の間に薬液を注入する神経ブロックなどを組みあわせ、痛みの軽減に努めます。安全のため、治療前に問診や血液検査を行います。また神経ブロックの際には、必要に応じてX線や超音波装置を用います。



▶高度医療機器を駆使した専門医による痛みの治療

どの治療法にも利点と欠点がありますので、患者さんにあらかじめ説明し、治療方針の希望を伺います。慢性痛の治療はしばしば長期になるため、その都度、状態や治療方針を確認します。「痛み」でお困りの方は、お気軽にご相談下さい。

ペインクリニック 治療室を拡充



増築部分

病院建物の北側に増築工事を行い、ペインクリニック治療室を増設しています。2023年4月の完成予定で、更に専門的、集中的、総合的な「痛み」の治療を目指します。



外来担当医師のご案内

QRコードを読み込むと当院ホームページの「外来担当医表」「医師不在予定」のページへアクセスできます



担当医師名		月	火	水	木	金	土
内科	院長 木下 昭生	午前	○	○	○	○	○
		午後					休診
科	高木龍一郎	午前		○			
		午後					休診
形成外科	手・指外科 大久保ありさ	午前	手術	○	手術	○	○※
		午後	手術	○15:30~	手術	○15:30~	休診

※1・3週 予約制 つめ・たこ・うおのめ外来
◎形成外科の診察は、原則として完全予約制です。受付窓口にてお申込み下さい。
外傷などの緊急性の高い患者さんはこの限りではありませんが、緊急性の判断はトリアージナースが行います。



担当医師名		月	火	水	木	金	土
整形外科	理事長 中村英次郎	午前	○	手術	○	○	○
		午後	手術	手術	○15:30~	手術	休診
整形外科	こつ・かんせつ・リウマチセンター センター長 藤川 陽祐	午前	○	○	手術	○	手術 ○
		午後		手術	手術	○	手術 休診
整形外科	副院長 こつ・かんせつ・リウマチセンター 副センター長 原 克利	午前	手術	○	手術	手術	手術
		午後	○	手術	手術	○	手術 休診
整形外科	こつ・かんせつ・リウマチセンター 脊椎外科部長 吉岩 豊三	午前	手術	手術	○	手術	手術
		午後	手術	○ 脊椎専門	手術	手術	○ 休診
整形外科	松本 博文 第2木曜日午後休診	午前	手術	○	○	○	手術
		午後	○	○		○	手術 休診
整形外科	荻本 晋作	午前				手術	
		午後				○ 肩専門	休診
麻酔科	ペインクリニック 高谷 純司	午前	○	○	○	手術	○
		午後	○	手術	手術	○	休診

INFORMATION

診療科目

内科・整形外科・リウマチ科
形成外科・リハビリテーション科
麻酔科・ペインクリニック内科
放射線科

受付時間

月曜日～金曜日 8:30～11:30
14:00～17:30
土曜日 8:30～11:30
日曜日・祝祭日 休診

病院理念

医療・介護を通じ、
患者さんの生活の質の向上に努める

基本方針

- 一、家庭的な優しい医療介護の実施に努めます
- 一、地域の皆様から安心信頼される病院づくりに努めます
- 一、患者さんひとりひとりの権利を尊重するように努めます
- 一、たえず医療介護の質の向上に努めます
- 一、地域の健康増進病気の予防に努めます

患者さんの権利について

私共は、患者さんの権利に関するリスボン宣言を遵守致します

1. 平等で最善の医療を受ける権利
2. 安全に医療を受ける権利
3. 治療を自由に選択し自己で決定する権利
4. 治療内容を知る権利及び知らないでいる権利
5. プライバシーが守られる権利
6. 他の医師や第三者の意見も聞き納得して治療を受ける権利（セカンドオピニオン）



- 大分駅より車で20分
- 高城駅より車で10分
- 米良インターより車で10分
- あけのアクロスタウンより徒歩5分



医療法人社団 唱和会

明野中央病院

発行日 2022年12月

〒870-0161 大分市明野東2丁目7番33号

TEL 097-558-3211 (代表) FAX 097-558-3709

E-mail owl@akenohp.jp

http://www.akenohp.jp/